

古河ロックドリル

適用範囲		型 式		Vp9	Vp15	Vp22	Vps9
		質 量 kg		800	1570	2630	685
		取付可能機体質量 (単位 t)		5～12	10～20	17～25	5～12
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値			
旋 回 装 置	旋回ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	14	18	18	18
		締付トルク	N・m	196	412	412	430
			kg・m	20	42	42	44
		外輪ボルトサイズ	mm	14	18	18	18
		締付トルク	N・m	196	400	412	430
			kg・m	20	41	42	44
油 圧 装 置	シリンダー (図 1-1、1-2 参照)	開閉シリンダー					
		伸縮量	mm	30	50	50	30
		測定時間	分	3	3	3	3
圧 砕 ・ 切 断 部	カッター (図 1-3 参照)	カッターの隙間 B					
		基準値	mm	0	0	0	0
		許容限度	mm	1.0	1.0	1.0	1.0
	圧砕ポイント (図 1-3 参照)	圧砕ポイント C					
		基準値	mm	0	0	0	0
		許容限度	mm	30	40	50	30
		圧砕ポイント D					
		基準寸法	mm	30	10	20	60
		許容限度	mm	60	50	70	90

コンクリート大割圧砕具

Vps15	Vps22	Vx135	Vx225	Vx365			
1460	2440	1375	2250	3580			
12～20	19～25	10～20	19～25	29～38			
検 査 基 準 値							
22	27	24	27	30			
800	1200	1000	1200	1800			
82	122	102	122	184			
22	27	24	27	30			
800	1200	1000	1200	1800			
82	122	102	122	184			
50	50	50	50	80			
3	3	3	3	3			
0	0	0	0	0			
1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
0	0	0	0	0			
40	50	40	50	50			
70	130	95	95	120			
110	180	135	145	170			

古河ロックドリル

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜いて、Aのストップバルブを閉じる。
- ③L寸法の測定を実施し、3分間経過後に再度L寸法を測定し、その差を伸縮量とする。

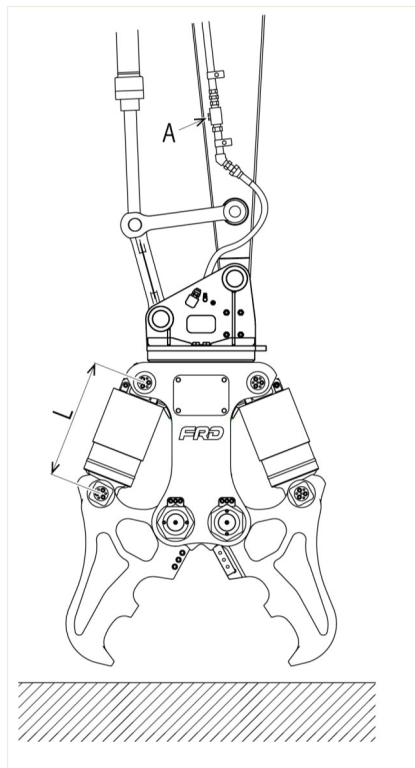


図 1-1 開閉シリンダーの伸縮量測定
(ダブルシリンダー型)

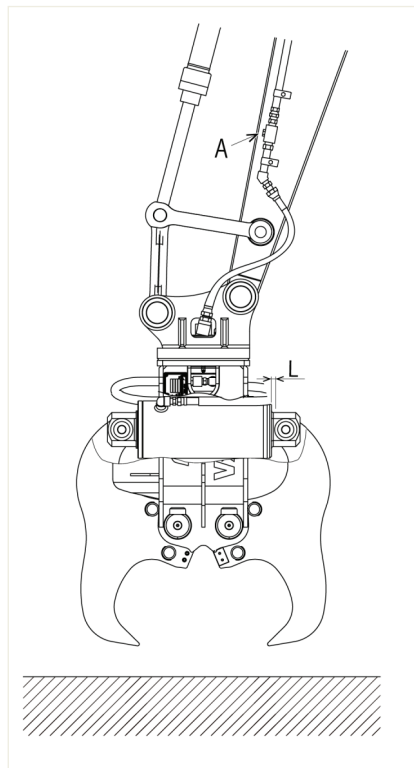


図 1-2 開閉シリンダーの伸縮量測定
(シングルシリンダー型)

2. カッターの隙間調整

- ①本体を水平に置きアーム全開状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②隙間ゲージにより B 寸法を測定する。

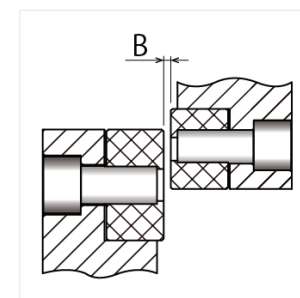
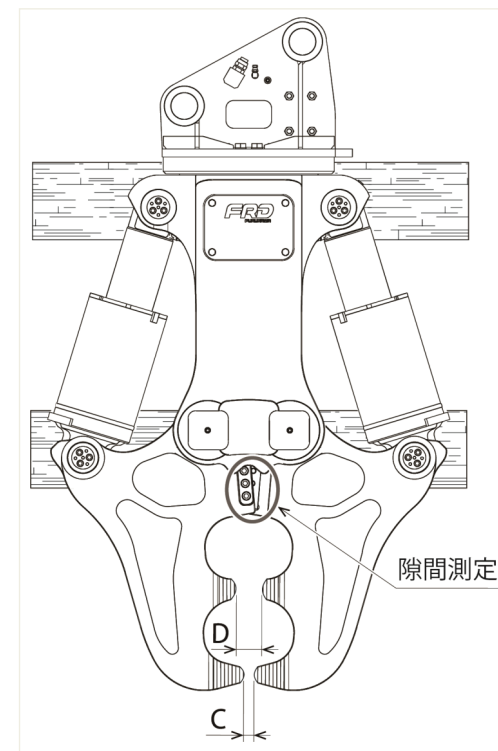


図 1-3 カッターの隙間測定